

## 中南米日系農業者連携交流委託事業（継続）

【42（50）百万円】

### 対策のポイント

中南米4カ国の日系農業者団体間の連携強化や技術研修及び農業ビジネス創出に向けた交流の実施により、我が国の食産業の展開等に資する関係の発展を図ります。

### <背景／課題>

- ・戦後、国策として農業者の移住を推進した中南米4カ国（ブラジル、パラグアイ、ボリビア及びアルゼンチン）との間には、日本との農業交流関係が構築されており、世代交代が進む中、我が国の食産業の海外展開を推進する上で、今後ともその関係の維持・発展を図っていく必要があります。
- ・中南米4カ国では、地域農業をリードする優秀な二世・三世の経営者も生まれており、日本の農業・食産業分野における取組や、日本企業とのビジネス構築について関心が高まっています。

### 政策目標

- 日本と中南米4カ国との間の農業関係の交流の発展を牽引することが期待される人材の確保
- 研修修了者が5年以内に日系農業関係者のリーダーとなる、または日本の農業・食産業分野に関わる割合が8割以上

### <主な内容>

1. 日系農業者団体間の連携強化 7（7）百万円  
中南米4カ国（ブラジル、パラグアイ、ボリビア及びアルゼンチン）の日系農業者団体同士の交流会議を開催し、各団体が抱える課題の解決に向けた情報を交換・共有し、これら組織間の連携を強化します。
2. 日系農業関係者向けの技術研修・交流の実施 35（43）百万円
  - (1) 日系農業関係者への技術研修  
中南米4カ国及び日本において、次世代の先導的役割を担うことが見込まれる日系農業関係者を対象に、農業生産や加工技術、農業経営について座学や実習による研修を実施し、現地リーダーや我が国のパートナーを育成します。
  - (2) 中南米との農業ビジネス創出に向けた交流  
中南米4カ国または日本において、交流会やセミナーを開催し、農業ビジネスの創出に向けた連携を強化します。

委託費  
委託先：民間団体等  
事業実施期間：平成25年度～平成29年度

お問い合わせ先：  
大臣官房海外投資・協力グループ（03-3502-5914）

# 中南米日系農業者連携交流委託事業

## 背景・現状

- **歴史的背景**
  - ・戦後、日本は中南米4カ国(ブラジル・パラグアイ・ボリビア・アルゼンチン)への農業移住を国策として推進。
- **日系社会の動き**
  - ・世代交代により、**日系人としてのアイデンティティが薄れ、日系農協組織間の連帯が低下**することにより、日本との交流の希薄化が懸念。
  - ・一方、若い世代において、**日本の6次産業化や高付加価値化への取組について関心が高い**。また、**日本企業をパートナーとしてビジネスを構築することに積極的**である。
- **日本政府の取組**
  - ・平成26年秋、官邸は経済的発展の観点から、日系人との関係強化を図るため、世耕内閣官房副長官(当時)を議長とした「中南米経済・文化交流促進会議」を設置。
  - 第6回の同会議(平成28年6月開催)において、各省における日系人支援の持続・拡充を課題とした。

## 事業内容

- 1 日系農業者団体間の連携強化**  
中南米4カ国の日系農業者団体同士の交流会議を開催し、各団体が抱える課題の解決に向けた情報を交換・共有し、組織間の連携を強化する。
- 2 日系農業者への技術研修**  
次世代の先導的役割を担うことが見込まれる日系農業関係者を対象に、農業生産や加工技術、農業経営について研修を実施し、現地リーダーや我が国のパートナーを育成する。
- 3 中南米との農業ビジネス創出に向けた交流**  
交流会やセミナーを開催し、農業ビジネスの創出に向けた連携を強化する。



日系農業者団体連携強化会議



農産物加工実習



ブラジルの農協と日本の商社との交流

- ◆ 若い世代の日系人との新たな協力関係の構築など日系農業関係者との交流が維持・発展
- ◆ 日本企業との農業ビジネスに関する交流の促進により、ビジネス構築の機会が拡大